

令和元年度事業報告書
(平成31年4月1日から令和2年1月31日まで)

1. 事業の執行状況

(1) 奨学事業

1) 新奨学生の決定について

東京海洋大学から推薦された学部1年生及び修士1年生、前年度欠員があった学部2年生について、令和元年5月31日開催の奨学生選考委員会で審議し、それぞれ5名、5名、2名を奨学生に決定し、決定結果を大学を通じて本人に通知しました。

2) 奨学生数及び給付金額について

本年度当初の奨学生数は、学部1年生5名、2年生15名、3年生16名、4年生14名、大学院修士1年生5名、2年生15名の合計70名でした。これらの奨学生のうち68名には、1人当り月額3万円の奨学金給付を行ないました。また、1名は平成29年9月入学、30年4月の給付開始、もう1名は平成30年10月入学、平成31年4月の給付開始のため、本年度の給付金額は月額4万円でした。

3) 奨学生に対する補導について

令和2年3月17日に奨学生選考委員会主催の奨学生との懇談会を、東京海洋大学越中島キャンパスのワールドマリカフェで開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染の広がりのため、中止といたしました。

(2) 法人業務について

昨年度に引き続き、会計処理などに対処するために、会計事務業務などを外部に委託する契約を結びました。また、法律問題などに適切に対処するために、解散関係を含む法律顧問の契約を結びました。

2. 定款の変更

令和元年6月20日に開催された定時評議員会で、本会の存続期間を令和2年1月31日までとすること及び残余の財産を国立大学法人東京海洋大学に贈与することを決定し、それに伴う定款の改定を行いました。

3. その他

1) 三輪正人育英会と東京海洋大学の打ち合わせ

解散後の奨学事業の円滑な継続について話し合うために、令和元年7月1日に東京海洋大学海洋工学部長室で、同学部長及び関係者と本会役員との打ち合わせを行い、東京海洋大学で設けられる計画の東京海洋大学海洋工学部三輪正人奨学金の規則など、同大での準備状況について協議しました。

2) 解散に関する東京都との協議と本会の解散

本会の解散に向けて東京都公営法人担当との協議を進め、令和2年1月24日に最終的な東京都からの解散の確認を得て、2月1日をもって解散に至りました。

三輪正人育英会 貸借対照表(令和2年1月31日)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 流動資産				
現金及び預金	4,171,650	4,382,300	-210,650	
流動資産合計	4,171,650	4,382,300	-210,650	
2. 固定資産				
(1) 特定資産				
奨学金事業運用財産	5,000,000	5,000,000	-	
奨学金事業指定基金	220,401,672	244,595,209	-24,193,537	
管理運営費用指定基金	71,892,718	76,591,102	-4,698,384	
特定資産合計	297,294,390	326,186,311	-28,891,921	
(2) その他固定資産				
敷金	216,000	216,000	-	
その他固定資産合計	216,000	216,000	-	
固定資産合計	297,510,390	326,402,311	-28,891,921	
資産合計	301,682,040	330,784,611	-29,102,571	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	-	15,214	-15,214	
預り金	63,723	180,242	-116,519	
流動負債合計	63,723	195,456	-116,519	
2. 固定負債				
固定負債合計	-	-	-	
負債合計	63,723	195,456	-116,519	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄附金	297,294,390	326,186,311	-28,891,921	
指定正味財産合計	297,294,390	326,186,311	-28,891,921	
(うち特定資産への充当額)	297,294,390	326,186,311	-28,891,921	
2. 一般正味財産	4,323,927	4,402,844	-78,917	
(うち特定資産への充当額)	-	-	-	
正味財産合計	301,618,317	330,589,155	-28,970,838	
負債及び正味財産合計	301,682,040	330,784,611	-29,087,357	